

さらなる進化と成熟を 清流の国ぎふ2020プロジェクト、始動。

「清流の国ぎふ、ミナモ通信」を始めました。
皆さんが、より楽しく、より豊かに生活するために
役立つ身近な情報を、毎月お届けします。



「清流の国ぎふ」
マスコット
キャラクター
ミナモ

東京オリンピック・パラリンピックが開催され、東海環状自動車道が全線開通する2020年。これからの6年を飛躍のステップにするのが「清流の国ぎふ2020プロジェクト」です。これは、オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興だけでなく、ひと・まち・文化・自然の資源を活用し、岐阜県の地力を高める、攻めの戦略です。

問/県清流の国づくり政策課 ☎058(272)1111(内線2052)

●プロジェクトの一例です

project 1 2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向けて

■飛騨御嶽高原 高地トレーニングエリアの活用

世界のトップアスリートが実践する「高地トレーニング」。国内を代表する拠点である飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアへの国内外からの合宿誘致を図ります。

■岐阜県発の代表選手を育成

かねてより推進してきた県選手の競技力向上に加え、今年度からは障がい者スポーツ選手の強化にも力を注ぎます。



飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア
御嶽パノラマグラウンド(標高1,700m)

■岐阜県スポーツコミッションを設置

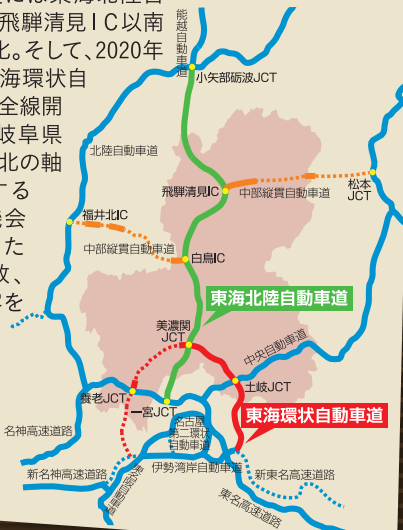
世界レベル・全国レベルの大会やトップアスリートの強化合宿などを誘致する組織を県庁内に設置。障がい者スポーツも含め、スポーツ交流の機会と人口を増やし、地域活性化に役立てます。

■おもてなし力強化で外国人の観光誘客へ

試合や観戦のために訪日した外国人選手や観客を、岐阜の観光へ。「ぜひ行きたい」「また来たい」と思わせる観光商品づくりに取り組みます。

project 2 2020年 東海環状自動車道 全線開通に向けて

2018年度には東海北陸自動車道の飛騨清見IC以南が4車線化。そして、2020年度には東海環状自動車道が全線開通予定。岐阜県の東西南北の軸が確立する絶好の機会を活かした企業誘致、観光誘客を図ります。



project 4 2015年 全国育樹祭の開催に向けて

大会テーマ

「手から手へ

豊かな緑でぼくらの未来」



全国育樹祭は、全国植樹祭で天皇后両陛下がお手植えされた木を、皇太子同妃両殿下がお手入れされる行事です。親から子へ、子から孫へ、豊かな自然を守り活かすことの大切さを次代に伝える行事として開催します。

【開催会場】 揖斐郡揖斐川町谷汲

■2014年度の主な取り組み

- 7月 「第23回緑の少年団全国大会」の開催
- 秋 全国育樹祭1年前プレイベントの開催



昭和32年、揖斐川町で開催された全国植樹祭
でお手植えをされる昭和天皇(右)

現在の様子



project 3 2016年 第70回 全国レクリエーション大会に向けて

国内最大規模のレクリエーション大会を岐阜で初開催(2016年9月23~25日)。「楽しさ・遊び・笑顔」をスローガンに大会を盛り上げるとともに、幅広い層へのレクリエーションの普及・振興をめざします。

Schedule

2014

- 高山本線全線開通80年
- 東海道新幹線開通、岐阜羽島駅開業50年
- リニア中央新幹線着工

2015

- 第39回全国育樹祭
- 花フェスタ2015ぎふ
 - 北陸新幹線長野～金沢間開業
 - 白川郷世界文化遺産登録20年
 - 第15回世界陸上競技選手権大会 北京大会

2016

- 第70回全国レクリエーション大会 岐阜大会
 - 飛騨・美濃合併140年

2017

- 白山スーパー林道開通40年
- 養老改元1300年祭

2018

- 東海北陸自動車道白鳥IC～飛騨清見IC間4車線化
- 平昌オリンピック・パラリンピック(冬季競技大会)＜韓国＞

2020

- 東京オリンピック・パラリンピック
- 東海環状自動車道全線開通
 - 関ヶ原の合戦420年
 - 養老公園開園140年

2027

- リニア中央新幹線開業

